

平成 31 年全日本選抜柔道体重別選手権大会

2等陸尉
女子 78kg 級
濱田尚里

4年ぶり 2度目の

優勝

得意の寝技とレベルを上げた立ち技とを駆使し冷静に攻める濱田 2 尉

平成 31 年 4 月 6 日から 7 日の間、福岡国際センターで平成 31 年全日本選抜柔道体重別選手権大会が行なわれ、自衛隊体育学校柔道班から濱田尚里 2 等陸尉以下 5 名の選手が出場した。本大会は 8 月 25 日から 9 月 1 日の間、日本武道館で開催される 2019 年東京世界柔道選手権大会の日本代表選考を兼ねており、東京五輪を目指す選手にとって重要な大会だ。昨年、世界女王に輝いた濱田 2 尉が今大会でも女子 78kg 級で優勝の成果を収め、世界選手権 2 連覇に向け大きな一歩を踏み出した。



4 年ぶりに頂点に振り返った濱田 2 尉（写真右）

濱田 2 尉は 1 回戦を開始 3 分 24 秒、準決勝では 2 分 53 秒とともに得意の寝技である横四方固で一本勝

世界柔道選手権大会出場権 **獲得**

ちし、圧巻の強さで決勝戦に駒を進めた。迎えた決勝の相手は柔道グランドスラム大阪で金メダリストの佐藤瑠香選手（コマツ）。昨年 12 月に行なわれた 2018 柔道ワールドマスターズ・広州で濱田 2 尉は佐藤選手に敗れており雪辱の戦いとなった。両者一歩も譲らぬ攻防が続くなか濱田 2 尉は開始 2 分 46 秒で大内刈を決め技ありを奪い優勢勝ち。4 年ぶり 2 度目の優勝を飾った。

試合後、濱田 2 尉は「寝技だけでなく立技も練習してきていたので決まって良かった。世界選手権での優勝はあまり意識せず、ひとつひとつの試合で勝つことを意識してきた。世界選手権連覇に向けて頑張る。東京五輪では寝技・立技の両方を使って勝てるように練習していきたい。」と語った。

大健闘の末
3 名の選手が惜しくも **準優勝**

女子 48kg 級に出場した山崎珠美 3 等陸尉は、1 回戦を優勢勝ち、続く準決勝では開始からわずか 38 秒で一本勝ちし、決勝進出。決勝では古賀若菜選手（南筑高校 3 年）に惜しくも敗れ、2 連覇達成はならなかった。



男子 81kg 級 佐藤 2 曹

男子 81kg 級には佐藤正大 2 等陸曹が出場した。1 回戦・準決勝ともに一本勝ちで勝ち上がり、決勝では永瀬貴規選手（旭化成株式会社）と 8 分 36 秒の激闘の末、膝車で技ありを取られ惜敗した。

女子 70kg 級に出場したのは今年度新規採用された新添左季 2 等陸曹。1 回戦は足車、準決勝では払腰とともに一本勝ちし決勝へ。決勝で

は大野陽子選手（コマツ）と 7 分 21 秒にわたる熱闘を繰り広げたが、相手の小外刈が技ありとなり、惜しくも準優勝に終わった。



女子 48kg 級 山崎 3 尉



女子 70kg 級 新添 2 曹

総 合 成 績（メダル獲得以上）

女子 78kg 級	優 勝	濱田 尚里	鹿児島県出身
女子 48kg 級	準優勝	山崎 珠美	神奈川県出身
女子 70kg 級	準優勝	新添 左季	奈良県出身
男子 81kg 級	準優勝	佐藤 正大	福岡県出身

